

No. 927

2026年6月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com

住民こそ主人公・住民のための市政を

# 明日の相模湖

## 改憲・「日米同盟強化」一色の国会で 光る共産党の安保・外交論戦

自民・維新連立政権と補完勢力が国会で8割以上の議席を占め、安全保障・憲法を巡り翼賛化が進行しています。

とりわけ、国会の大半が大軍拡を正当化し、日米同盟を絶対視する「思考停止」に陥っています。日本共産党はこうした流れに真っ向から抗し、アメリカ言いなりの大軍拡反対・憲法9条を守り生かそうと論戦を展開。かけがえのない役割を果たしています。

### 「事前協議」違反を追究

鋭く問われたのが、米・イスラエルによるイラン先制攻撃を巡る対応です。

スペインやイタリアなど、少ない米国の同盟国が「国際法違反」だと非難し、国内の米軍基地の使用を拒否しました。一方、日本からは在沖縄海兵隊や横須賀のイージス艦など、多くの米軍部隊が出撃し、イラン攻撃に関与。ところが、日本政

府は一度たりとも米国を非難せず、米軍の出撃を容認し続けています。

この問題を正面から告発したのが日本共産党です。田村智子委員長は、国民の8割がイラン攻撃に反対しているのに、政府が「事前協議」を一度も求めず在日米軍のイラン出撃を容認してきた日本政府の姿勢を批判しました。

1960年1月の安保条約改定とともに交わされた岸・ハーター交換公文では、在日米



軍が日本の施政権外で「戦闘作戦行動」を行う場合などに、日米が「事前協議」を行うとしています。これは、安保体制の下で日本国民が望まない戦争に巻き込まれることを防ぐための制度です。

ところが、茂木敏充外相は、協議を行うかどうかは「米軍が判断する問題だ」と無責任な姿勢に終始。こ

れに対し、田村氏は4月9日の衆院安保委員会で、75年に外務省アメリカ局長が衆院内閣委員会で行った答弁を引用して追及しました。同局長は、在日米軍が日本国内の基地から海外の戦場に出撃し、直接戦闘に従事する場合は「明らかに事前協議の対象」だとした上で、それ以外の任務や態様も「見極めなければならぬ」と答弁していました。

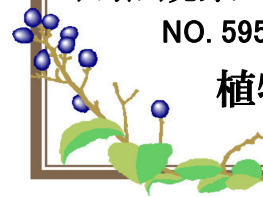
イタリアが国内の米軍基地の使用を拒否することができた背景に、米国の2国間協定でイタリア政府の合意なしに攻撃的目的での基地使用を制限していることに言及。「日本も思考停止から抜け出す時だ」と強調し、米軍に基地の排他的使用権を認めている日米地位協定の抜本改定を求めました。

これらは、綱領に日米安保条約を廃棄し、対等・平等の日米関係をつくることを掲げている日本共産党だからこそできる論戦です。同時に、日本政府との事前協議もなく、国連憲章にも国際法にも違反した戦争に在日米軍が出撃することは国家主権の侵害であり、安保容認の立場であっても、追及しなければならぬ問題です。

自然観察シリーズ

NO. 595

植物



ゴマギ(胡麻木)  
ガマズミ科ガマズミ属

ゴマギは、ガマズミの仲間です。高さは5M位になる木です。葉は厚くてシワがあり、ゴワゴワした感じで枝に対生しています。五月頃に白い一センチ位の花をモコモコと、木全体が白く見える程咲かせます。枝や葉をもむとゴマ油の香りがします。花のあと夏には赤い実を付け、秋には黒くなります。食べることはできません。

県内では相模原台地に少しと、箱根に多く生育しています。津久井の山や丹沢には見られません。近い所では、山中湖周辺の少し湿った林に普通に多く見られます。別荘地にも見られます。花が咲いたかなと五月中旬に行ってみたら、まだほとんどは蕾で、一〜二本咲き出していました。他にミヤマザクラの白い花は満開で良かったです。

小原の郷 リニューアル進行中

「小原の郷」は、現在リニューアルオープンに向けた改修工事を行っており、2027年1月30日まで休館となっています。改修後のリニューアルオープンは2027年1月31日を予定しています。

「自然と歴史の入り口」をコンセプトに再整備される施設には、次のような新機能や特徴が追加されます。

◆ 飲食・物販施設の拡充 津久井産材をふんだんに使用した落ち着いた木質空間に生まれ変わり、新たにカフェスペースや物販機能が設けられます。

◆ 歴史と自然の交流拠点 既存の小原宿本陣関連の資料展示に加え、体験プログラムやイベントが定期開催されます。

◆ 周辺環境の整備 トイレの新設、芝生広場の整備、約40台が収容できる駐車場が新たに設置されます。

外観 (イメージ)

